

## 2016年飯能市における爬虫類の記録

石井克彦(川の博物館)・佐藤浩一(ruderal inc.)  
石井徹尚(学校法人自由の森学園教諭)

爬虫類は自ら鳴き声を出したりすることがなく、移動の際も目立たないため、発見は偶然に頼るところも多い。今回筆者らは飯能市において、カメ、トカゲ類を除く爬虫類を記録したのでここに発表する。

飯能市は埼玉県南西部に位置し、東は、狭山市、入間市。南は、東京都青梅市、奥多摩町。西は秩父市、横瀬町。北は、ときがわ町、越生町、毛呂山町、日高市に隣接する。平成17年(2005年)に名栗村と合併し県内3番目の面積を持つ市町村である。地形は変化に富み、標高は1356m(日向沢ノ峰)から71m。山地、丘陵地、台地を有す。地形を利用した産業として西川林業が知られている。山地で育てたスギ・ヒノキを入間川の流れを利用し下流に搬出していた。現在も多くのスギ・ヒノキの植林が見られる。入間川を南北からはさむ形で、秩父山地から尾根が伸びて丘陵を形成しており、山地の生きものを市街地近辺で比較的観察しやすいことも特徴である。市街地は入間川の扇状地上流部にある。扇状地を利用して田畑も作られている。

### 調査方法

夜間に車両を用いて、車道をゆっくりと走行し、目視により確認。また、車両の通行ができない車道や林道では、徒歩による調査も併せて行った。調査期間は、7月から10月の4か月間。

### 確認したヘビ類および確認地点 リスト(表1参照)

タカチホヘビ (*Achalinus spinalis*) 10例、  
ジムグリ (*Euprepiphis conspicillatus*) 3例、  
アオダイショウ (*Elaphe climacophora*) 4例、  
シマヘビ (*Elaphe quadrivirgata*) 2例、  
ヒバカリ (*Amphiesma vibakari vibakari*) 1例、  
シロマダラ (*Dinodon orientale*) 14例、  
ヤマカガシ (*Rhabdophis tigrinus*) 2例、

ニホンマムシ (*Gloydus blomhoffii*) 4例。

### 結果・考察

飯能の自然(1985 飯能市)によると、飯能市に生息するヘビ類はジムグリ、アオダイショウ、シマヘビ、シロマダラ、ヤマカガシ、ニホンマムシの6種が確認されている。今回の調査でタカチホヘビ、ヒバカリが新たに確認され、埼玉県に生息する8種すべてのヘビ類を飯能市内で確認することができた。調査では40例のヘビ類を記録することができた。中でも観察の機会の少ない、タカチホヘビやシロマダラを多数確認することができた。

### ヘビ類の今後への課題

今回確認したものの40例のうち23例は生きている状態であったが、17例は車道での轢死体(DOR: Dead On Road)であった。体が細長く、目立ちにくいヘビが夜間に車道を横断するために、ドライバーから視認されず車に轢かれてしまっていると考えられる。

また、側溝から出てきた個体が車道を移動する状況も見られた。排水のための側溝も、ヘビなどの小動物にとって移動時の障害を及ぼす現状も見受けられる。また、調査中に幼蛇、成蛇区別なく、飯能市に生息するすべてのヘビ(タカチホヘビ、ジムグリ、アオダイショウ、シマヘビ、ヒバカリ、シロマダラ、ヤマカガシ、ニホンマムシ)がDORとして確認された。移動途中の車による轢死が、ヘビの個体群の減少や生息に影響を与えていることは明らかである。

車道上での移動をスムーズに行わせる必要性や、車道に出ずとも横断できるような仕組みを考案することによって、個体群の減少を食い止めることができるかもしれない。

タカチホヘビ



8月15日



8月27日



9月17日



9月29日



10月4日



10月8日

シロマダラ



8月26日 DOR



8月26日 DOR





9月17日



9月17日



9月23日



9月25日



9月27日



9月28日



10月4日



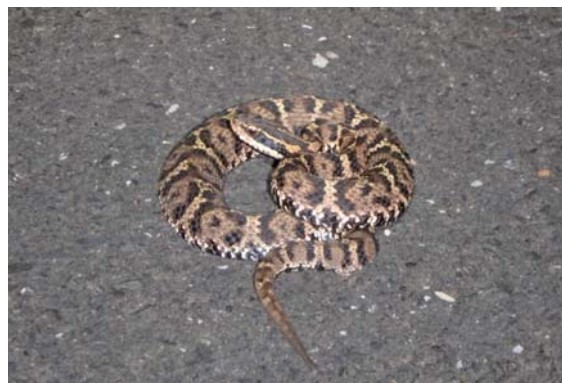
10月4日



ニホンマムシ



8月16日



9月9日



10月8日

アオダイショウ



9月27日

ジムグリ



9月28日

シマヘビ



9月28日

表 1

年 月 日	3次メッシュコード	発見時の状態	年 月 日	3次メッシュコード	発見時の状態
タカチホヘビ			ヒバカリ		
2016年 8 月 15 日	MC : 5339-6260w		2016年 9 月 25 日	MC : 5339-6157w	DOR
2016年 8 月 26 日	MC : 5339-6166w		シロマダラ		
2016年 9 月 17 日	MC : 5339-6260w		2016年 8 月 26 日	MC : 5339-6158w	DOR
2016年 9 月 25 日	MC : 5339-6179w		2016年 8 月 26 日	MC : 5339-6260w	DOR
2016年 9 月 29 日	MC : 5339-6179w		2016年 9 月 14 日	MC : 5339-6117w	
2016年 10 月 4 日	MC : 5339-6221w		2016年 9 月 17 日	MC : 5339-6157w	
2016年 10 月 8 日	MC : 5339-6260w		2016年 9 月 23 日	MC : 5339-6230w	
2016年 10 月 8 日	MC : 5339-6260w	DOR	2016年 9 月 25 日	MC : 5339-6179w	
2016年 10 月 8 日	MC : 5339-6221w		2016年 9 月 27 日	MC : 5339-6163w	
2016年 10 月 20 日	MC : 5339-6155w		2016年 9 月 28 日	MC : 5339-6165w	
ジムグリ			2016年 10 月 4 日	MC : 5339-7133w	
2016年 9 月 28 日	MC : 5339-6240w	DOR	2016年 10 月 4 日	MC : 5339-7144w	
2016年 9 月 28 日	MC : 5339-6126w	DOR	2016年 10 月 4 日	MC : 5339-7111w	DOR
2016年 10 月 6 日	MC : 5339-6221w	DOR	2016年 10 月 6 日	MC : 5339-6221w	
アオダイショウ			2016年 10 月 20 日	MC : 5339-6221w	
2016年 9 月 27 日	MC : 5339-6154w		2016年 10 月 20 日	MC : 5339-6250w	
2016年 9 月 27 日	MC : 5339-6134w	DOR	ヤマカガシ		
2016年 9 月 28 日	MC : 5339-6230w	DOR	2016年 9 月 27 日	MC : 5339-6191w	DOR
2016年 10 月 20 日	MC : 5339-6260w	DOR	2016年 10 月 2 日	MC : 5339-6194w	DOR
シマヘビ			ニホンマムシ		
2016年 9 月 28 日	MC : 5339-6166w	DOR	2016年 8 月 16 日	MC : 5339-6250w	
2016年 9 月 28 日	MC : 5339-6230w	DOR	2016年 8 月 20 日	MC : 5339-6221w	DOR
			2016年 9 月 9 日	MC : 5339-6221w	
			2016年 10 月 8 日	MC : 5339-6260w	DOR

### 今後の課題

昼間に調査を行わなかったために、昼行性のヘビ類を確認する機会が少なかった、今後も可能な限り確認できるように努めたい。

調査の手薄な地域として宮沢湖や名栗湖(有間ダム)周辺、加治丘陵などがあり、今後はこの地域の調査も進めていく必要がある。

### 参考文献

- 飯能市 (1985) 飯能市史「飯能の自然-動物」.
- 埼玉県 (2008) 埼玉県レッドデータブック 2008.
- 関慎太郎 (2016) 野外観察のための日本産爬虫類図鑑. 緑書房.